

## 刑 法

### 問題 1

甲の罪責に関する以下の記述について、正しい場合には、「正」と、誤っている場合には、「誤」と解答用紙の冒頭に記載した上、その理由を簡潔に述べなさい(なお、「誤」と解答した場合で他の刑法上の犯罪が成立する場合には、その罪名も理由中で明らかにすること。)

(1) 甲は、銀行強盗を行う際に当該銀行までの行き来に使用するため、自分の車をパチンコ店の駐車場に置いておき、そこでたまたま見つけた鍵のついたままであった軽四輪貨物自動車に乗って現場まで出かけた。銀行強盗は失敗に終わったが、約 30 分で駐車場に戻り、自分の車に乗り換えて逃走した。この間、上記貨物自動車の持ち主はパチンコをしていた。甲による上記貨物自動車の使用は窃盗罪に当たらない。

(2) 甲は、自ら開設・運営していたパソコンネットのハードディスクにわいせつな画像データを記憶、蔵置させ、会員登録した者がハードディスクにアクセスすることにより、有償で上記わいせつ画像データを閲覧できる状態とした。甲には、販売目的でのわいせつ物所持罪(刑法 175 条後段)が成立する。

### 問題 2

母甲は、乙(13 歳)に対し、覆面をし、エアガンをつきつけて脅迫するなどの方法により丙から金品を奪ってくるように指示命令し、乙は、自ら用意したナイフを携行した上、その指示に従って、丙にエアガンを向けるとともに、ナイフを突きつけて脅迫し、現金 50 万円を強取した。甲は、乙から、この現金全額を受け取り、遊興費に費消した。

甲に、強盗罪の間接正犯、教唆犯又は共同正犯(共謀共同正犯)のいずれが成立するかについて、共犯の要素従属性に関する自説を明らかにした上、その理由を説明しなさい。